



本編

CAMPUS MASTER PLAN
千葉大学キャンパスマスタープラン • 2022



キャンパスマスタープランの目標と計画ビジョン

01-1 アカデミックプランを支える キャンパスマスタープラン

大学は、施設や環境を維持しながら、教育・研究・医療の成果をあげ社会貢献を実現していくことが求められる。キャンパスマスタープランは、キャンパス空間の計画目標を示し、中長期的な大学経営・運営に関わる施設と環境整備計画を意思決定するために必要な戦略的プログラムである。

千葉大学のキャンパスマスタープランは、千葉大学憲章、千葉大学行動規範、千葉大学ビジョン、環境・エネルギー方針、中期目標・中期計画に掲げられた基本理念や計画のもとで実践されるアカデミックプランを支えるため、キャンパス全体の環境整備とその運用の観点から、長期的な視野とともに、中期的な目標達成のための計画を策定するものである。

01-2 アカデミックプランに対応した中長期的な計画の必要性

(1) 中長期的なフレームワークの必要性

キャンパス空間は、キャンパスが計画された時には予想できなかった環境や状況の変化が生じ、不確定な要素に対して柔軟に対応できることが求

められる。しかしながら、さまざまな状況の変化に応じてキャンパス空間の形を変えていくことは、空間的な無理が生じたり、大学のイメージやキャンパスの調和や美しさを失い、長期にわたる計画的な整備が不可能になることにつながる。

また、大学のキャンパスは、その規模や量の大きさゆえに一度に全部を改修整備できるわけではなく、段階的に実行していくことになるため、キャンパスという空間に関わる長期的な戦略が不可欠である。

そのため、20年程度（中期計画3期分程度の中長期）の将来を見すえ、教育・研究・医療状況の部分的変化にも対応可能なキャンパスの骨格となるフレームワークを定める必要がある。これには、その基礎となる地区全体のゾーニング計画、緑地・交通・エネルギー・サイン等の部門別計画、さらに、複数の施設整備をまたぐオープンスペース等を含む、複合的・横断的な計画として、リーディングプランが位置けられる。加えて、計画の柔軟性と段階的な整備を反映させた中期的なアクションプランを策定し、これらの相補的な関係の中でキャンパス空間を形づくっていくことが重要となる。

そのためにも、キャンパスの課題や問題点を徹底的に洗い出し、現状を正確に把握することによって、その場限りの解決策ではなく、抜本的な解決

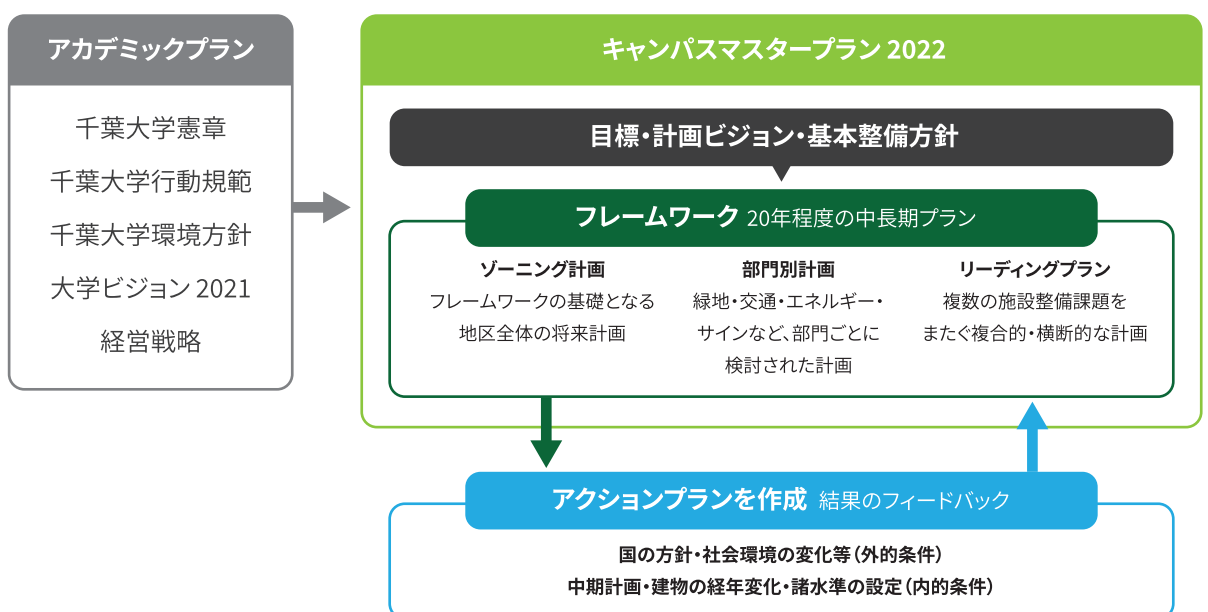


図 1-1 キャンパスマスタープランの構成

策を構成員らの十分な議論と合意のもとに、大学全体の将来戦略に合った骨格を示す計画案としてまとめる必要がある。

・優先順位の高いアクションプランを含みながら、フレームワークに関する未決定の事項を潜在的に具体化し決定する可能性があること。

(2) フレームワークを推進しアクションプランへと繋げるリーディングプラン

フレームワークの元に実施されるアクションプランは、通常、具体化にあたって個別単体の施設における機能的要求に応えることが多い。また、フレームワークのうち、地区全体のゾーニング計画は将来の計画に対して過度な制約条件とならないように抽象的な表現にとどまることが多い。従って、アクションプランの積み重ねを通して、実空間としてはキャンパスの全体的な一貫性が読み取りにくくなる場合がある。そこで、下記の条件で「リーディングプラン」を設定し、これによって個別に検討・整備する手法では実現できない複合的な課題に取組み、地区全体のゾーニング計画や部門別計画との整合性を保つ。そうしながら、個別の整備課題を迅速かつ円滑に解決するダイナミックなキャンパス空間の再編・実現を目指す。特に、オープンスペースなど複数の施設整備の影響を受けるキャンパス空間の重要な部分を含めて設定することで、従来実現しにくかったキャンパスの顔づくりやアイデンティティとなる景観の形成を図る。

リーディングプラン設定のための条件

- ・複数の施設整備課題をまたぐ複合的、横断的な整備計画であること。
- ・キャンパス全体のゾーニング計画や、個々のゾーンの面的な整備計画への影響が大きいこと。

(3) 中期目標・中期計画に対応したアクションプラン

中期のアクションプランは、大学の中期目標・中期計画に対応し、それを6年間で実現するための実行計画と、キャンパスや施設の整備計画、管理運営による施設マネジメント計画からなる。状況の変化や段階的の整備に対応しなければならない部分は、フレームワークに整合するように定めるものである。このため、実行に伴う予算制度や体制を確立し、施設の計画・運営を実施するものが常に念頭に置くべき指針となる必要がある。

01-3 キャンパスマスタープラン 2022 の目標と計画ビジョン

千葉大学がめざすアカデミックプラン（千葉大学憲章、千葉大学行動規範、千葉大学ビジョン、環境方針、中期目標・中期計画）を支え、千葉大学の理念である「つねに、より高きものをめざして」をキャンパス空間においても実行していくために、キャンパスマスタープランが目指すべき目標を、キャンパスマスタープラン 2012（以下、CMP2012）から引き継ぎ、【日本一のキャンパス】としている。

この目標を、構成員全員が認識しその実現に向けて努力する。

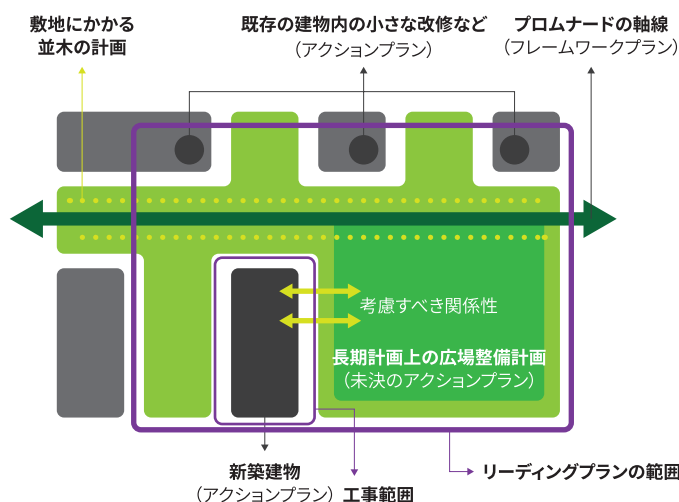


図 1-2 リーディングプランの考え方

キャンパスは、建物やサイン、緑など表面的な美しさをもたせるだけでは十分でなく、文化性、健康性、国際性、共同性など千葉大学がもつ内面のポテンシャルを合わせもって総合的に達成される。そのため、「日本一のキャンパス」を実現する具体的な計画ビジョンを以下の5つで構成する。

- (1) 「国・地域・大学の文化を継承・創造し地域に貢献するキャンパス」の実現
- (2) 「健康的で環境を重視したキャンパス」の実現
- (3) 「国際的・学際的な交流拠点となるキャンパス」の実現
- (4) 「豊かな緑と建物群の調和がとれた美しいキャンパス」の実現
- (5) 「知的共同体を目指す学問の基盤となるキャンパス」の実現

(1) 国・地域・大学の文化を継承・創造し地域に貢献するキャンパス

千葉大学の大学憲章、行動規範には、千葉大学は「社会と文化の発展に貢献する」「地域文化の形成に寄与する」ことが謳われている。キャンパスの施設整備や運営にあたって、私たちは大学キャンパスを、将来を担う学生達の創造的思考を醸成する場所、地域社会の誇りとなる知の連携交流拠点、持続可能（サステイナブル）な社会のモデルとして創り上げていく必要がある。そのようなキャンパスが、千葉大学のキャンパス文化を創造する基盤であるといえる。

(2) 健康的で環境を重視したキャンパス

健やかで豊かな学生生活を実現するキャンパスは、多様な学生のニーズに対応し、アメニティが充実し安心して健康的である必要がある。健康分野の教育研究も充実し環境ISO活動にも率先して取り組む千葉大学は、自然環境の維持・保全・再生を目指しながら、環境と健康に配慮したキャンパス整備、環境負荷が少ないキャンパスと施設づくりを実現する。

(3) 国際的・学際的な交流拠点となるキャンパス

千葉大学は、国際化を推進し、世界的な研究拠点となることを、中期目標の中で謳っている。世界に伍するトップレベルの教育研究拠点となるためには、国際的な評価に耐えられるキャンパス環境が必要であり、施設づくりが求められている。

また同時に、留学生の受け入れや、留学生の生活と学習を支えるキャンパス環境、国際共同研究や国際的に通用する人材の育成を支えるキャンパス環境を実現していかなければならない。

(4) 豊かな緑と建物群の調和がとれた美しいキャンパス

千葉大学は緑豊かなキャンパスとして学生・教職員に高く評価されている。キャンパスは、大学の資源としてだけでなく、周辺地域の環境資源としても、保全・活用していくべき重要な要素である。また、キャンパスが一体として美しく、建物群が緑と調和した美しい景観を構成していることは、キャンパスで長い時間を過ごす学生や教職員のアメニティ環境、癒しの空間を実現する上で非常に重要な視点である。

(5) 知的共同体を目指す学問の基盤となるキャンパス

千葉大学憲章の目標に「学ぶ喜びを生きがいと感じ、ともに成長していく知的共同体」がある。知的共同体の実現のために、構成員の自主性や自律性を重んじ、教育の効果を高める学習環境、安心して働ける職場環境、構成員のコミュニケーションの連鎖が生まれるような空間など、構成員にとってかけがえのない体験の礎となる豊かなキャンパスを実現する。

01-4 計画ビジョンの共有

キャンパスの計画ビジョンを、全ての構成員が共有できるように、CHIBAの頭文字一つずつに対応させて計画ビジョン【CHIBA】とした。

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| (1) 国・地域・大学の文化を継承・創造し地域に貢献するキャンパス： | 教養あふれる (Cultured) |
| (2) 健康的で環境を重視したキャンパス： | 健康的で (Healthy) |
| (3) 国際的・学際的な交流拠点となるキャンパス： | 国際的な (International) |
| (4) 豊かな緑と建物群の調和がとれた美しいキャンパス： | 美しい (Beautiful) |
| (5) 知的共同体を目指す学問の基盤となるキャンパス： | 学問の場 (Academia) |



図 1-3 計画ビジョン【CHIBA】